

日本YWCAの使命(ミッション)
イエス・キリストに学び、共に生きる世界を実現する
世界の人々と共に人権・平和・環境の問題に取り組む

第29総会期主題
平和を実現する人々は幸いである一マタイによる福音書5章9節

- 日本YWCAビジョン2015
(1) 非核・非暴力による平和を構築する
・平和憲法をまもり、世界に広める
・市民レベルで東北アジアの信頼関係を築く
・女性と子どもの権利をまもる
・パレスチナYWCAの活動を支援する
(2) 若い女性のリーダーシップを養成する

YWCA 3

MAR. 2007

発行所 日本キリスト教女子青年会
〒102-0074
東京都千代田区九段南4-8-8
Tel. 03-3264-0661
E-mail. office-japan@ywca.or.jp
編集発行人 石井摩耶子
振替 00170-7-23723 (毎月1日発行)
定価1部 150円
年間購読料2,200円(送料込)
www.ywca.or.jp



大阪 YWCA

傾聴カフェ 「リベンダー」 開店

淡い色調でセッティングしたテーブルに、毎回心を込めて用意される可憐な草花やメニューカードが揃いました。手作りのお菓子とコーヒーの香りが漂い始める頃、傾聴カフェの開店です。名前は「リベンダー」。ここは「大阪YWCA傾聴力養成講座」修了生有志の実践の場です。

「傾聴」というと何か固い印象で、まだまだ認知されていませんが、私たちは、難しく考えずすっきり聴くことを心がけています。気をつけているのは、視線や応答の言葉、守秘など聴く心構えはもちろんですが、何より話し手その人を尊重する姿勢です。

よく「聴くだけ?」と聞かれます。「傾聴」は精神的なサポートです。話したことを聴き受けとめられることで、話し手は安心したり、心の整理がたたりします。専門家でない私たちがスタッフは、色々話したいのに相手がいらない方の聴き手として気持ちを受けてくれるお手伝いをすることを目的としています。具体的にはサポートが必要な場合は専門家に繋いでいきます。私にとってこの活動の原点は、十数年前に始まった「生と死を考える講座」です。さまざまな

ケアの現場から学び、信頼関係の基になるコミュニケーションの重要性に強く惹かれました。そして阪神大震災後の仮設住宅訪問や、ケアマネジャーとしての利用者を重ねた中で、「聴いてもらうってよかったの一言から心が通い合った喜びが次の一歩を進めてくれました。開店から3カ月、課題も次々出ています。求めている方への有効な広報の方法や「出前」の検討等、一つひとつ解決を目指して、粘り強く続けようと思っ

た。ほめられるべき行動と問題行動と言われるもの間には区別がなく、すべて「地続き」になっていると図示した。近年、人格障害と呼ばれる症状が見られるが、病気が否かの線引きは難しい。当人の特性「個性」が日常生活に支障をきたすと自覚して、来院し治療の対象となるかによる。反社会的と見られる行動も、ひとたび社会的に認知されれば好ましい個性として見られる。最高か最悪かで、中間が抜けていること。学生の就職指導で小さい会社を紹介すると「自分は普通の人間にしか見えてもらえない」と

活動にも取りこんでいました。教育、福祉、女性や子どもへの支援などが行き届かない占領下のパレスチナにおいて、YWCAなどNGOに期待される働きは大きいと言えます。オリープの木キャンぺンに加えて、より具体的なプログラムを支援する繋がりを私たちも創っていきませんか?
大阪YWCA 宮崎祐

東京 YWCA

香山リカ講演会 若者の自立と自己実現を支援するーボランティア活動の有効性

東京YWCAボランティア相談室主催で1月24日、表題の講演会を開催した。精神科医で大学教員の香山リカさんによると、今の青年に見られるさまざまな行動のベースにあるものはすべて共通している、という。それはうつ気分、自尊感情・自己肯定感の低下、そしてこれらと相反するかに見える特権意識、万端感である。置かれた環境、その時の状況で表現形態が違ってくる。ひきこもり、摂食障害、自傷行為、依存、美容整形、暴力、また一見好ましいと見られる芸術活動やボランティア活動も含めて、これらの行動は突出した部分として表面化し

活動を紹介した。参加者は海外支援にも興味がある人が多く、熱心に聞き取っていた。次に、日本の状況について、問題・奪われた権利・その原因・回復のためのアプローチを考えた。参加者の年齢がバラバラだったため、さまざまな意見が出された。ボランティアと違って、日本では時間的・精神的余裕のなさから、人間関係の弱さや問題のようにならぬ。中高生が、「大事なことは、愛や安心だ」と話していたのが印象的だった。

今回のワークショップは、一人ひとりが問題に気づきつつも、でも実際に参加者が動き出すよう、そんなワークショップをしていきたいと感じた。
東京YWCA 小西静子

「傾聴」が日常生活に支障をきたすと自覚して、来院し治療の対象となるかによる。反社会的と見られる行動も、ひとたび社会的に認知されれば好ましい個性として見られる。最高か最悪かで、中間が抜けていること。学生の就職指導で小さい会社を紹介すると「自分は普通の人間にしか見えてもらえない」と

5階建ての会館全体を女性と子どもセンターとすべく改装に着手し、各国YWCAなどに支援を呼びかけています。ホストアルは閉じましたが、ステディーズの参加者等の受入れのためのゲストルームは残す計画です。希望があればツアーをアレンジします。と積極的でした。子どもケアのための親を交えたカウンセリング、HIV/AIDS問題に取り組み若い男女の教育プログラムなど、ユニークな

活動にも取りこんでいました。教育、福祉、女性や子どもへの支援などが行き届かない占領下のパレスチナにおいて、YWCAなどNGOに期待される働きは大きいと言えます。オリープの木キャンぺンに加えて、より具体的なプログラムを支援する繋がりを私たちも創っていきませんか?
大阪YWCA 宮崎祐

熊本 YWCA

子どもの時代をとり戻そう

11月11日(土)に開催された「全国子どもの権利条約フォーラムin熊本」で熊本YWCAは、フリーレンへのステディーズの体験を通して、「子どもの時代を取り戻そう」をテーマにワークショップを行った。まず参加者(フリーレンの現状について)を知ってもらうため、

説明を行った。貧困や家庭崩壊・人身売買・子ども買春・虐待・児童労働などの犠牲となり、心身に深い傷を負った子どもたちに、安心と安全な生活、専門家によるカウンセリング、法的援助や教育の機会を与え、支援している、コロンバン修道会立の子どもの救済施設「ブレダ」の

今回のワークショップは、一人ひとりが問題に気づきつつも、でも実際に参加者が動き出すよう、そんなワークショップをしていきたいと感じた。
熊本YWCA 平山晶子

「協力ありがとうございます」
「賛助費(以下敬称略)
土居松枝 益田明美 青木恵子 伊藤悦子 黒田とみ子 平田厚子 吉岡郁子 濱田映子 佐藤厚子 佐久間佳子 奥水絹枝 山本厚子 小野千鶴 西谷さやか 青木恵子 神崎千穂子 本田恭子 田中豊子

福岡YWCAでは長年、韓国と関わる活動をしてきた。光州YWCAとの姉妹提携は31年目となり、その間、アジア・太平洋戦争中の日本軍による朝鮮人強制連行や「慰安婦」の問題にも取り組んできた。2004年に姉妹提携を結んだ晋州YWCAとは、毎年日韓ユースボランティアキャンプを合同で行い、生き生きとした交流を続けている。参加する青年たちの心は実に澄みきっており、初めは相手国に対する先入観や言葉の壁を前に立ちすくんでしまうが、キャンプが終わる頃には気持ちも通じ合い、互いを受け入れ認め合おうとする真摯な態度が直に伝わってくる。たった一人でもいいから「友だち」になる。それが相手国との良い関係を築こうとする願いとなり、平和の礎となる。その一つひとつは小さな小石にすぎないが積み重なれば大きな橋となる。毎年、彼らの姿勢に触れ、そのような思いを新たにさせられている。

戦時における女性への暴力をテーマにした「女性国際戦犯法廷」の番組制作したテレビ局が、内容を改変したとして東京高裁で裁かれた▼これは、己の信条からそれ、国の圧力を器用にかわすことで組織の維持を図ろうとする弱さへの警鐘として胸に刺む問題でもある▼次号で▼期編集委員会の仕事は終わる▼皆様の協力とお支えに感謝しつつ。
(K)

つながいばなかなあひかり

学校法人アジア学院副校長 荒川朋子



最近フリーレンで多くのアジア学院卒業生と会う機会に恵まれた。そこで強く感じたのは、卒業生たちが学院つながつていることを喜び、誇りとし、希望としているということだった。30年近く前に卒業した20歳になる修道女の卒業生は、ここで体験したさまざまな出来事をまるで昨日のことのように話してくれ。ミンダナオ島の奥地で少数民族の生活改善に農業を通して取り組んでいる卒業生夫妻も、学院の研修によって農業に対する考え方がいかに大きく変わったか、卒業生としていかに誇りを持って生活しているかを感慨深く語ってくれた。卒業生・元職員・元ボランティア、たとえ数日間の訪問者であっても「アジア学院にいたことがある」というだけで、同じ何かを共有する仲間としてつながつていると実感した。

あふれるモノに囲まれているが、心を満たしてくれるつながりをもつことのできない私たち日本人。それは大切なものを分ち合う経験を通してまったことと無関係でないような気がする。ひとつのキャンデーを細かく割って何人かで分け合う子どもたち。弟を学校に通わせるため、家族の米を売ったため、家に電気を引くため、自分には1銭も残さず稼いだお金をすべて家族に差し出す若い女性。すし詰めの乗り合いバスで、乗り込んできた小さな子どもに手を差し伸べたり前のように自分のひざに背せる大人たち。それらが日常であるいわゆる「貧しい」と言われる社会には、本當のつながりがある。彼、彼女らは経済的には貧しいが、自分たちを不幸だとは思わないという。それは分ち合うことから生まれる、深く多様なつながりの中で生きているからではないだろうか。

大切なものだから分ち合うこと、これを意識してやってみよう。まずは身近な人たちと時間をかけて、感謝をもって命を支える食べ物、を共に頂く。できればその食材の一つでもいいからその人といっしょに作ることでできたものと素晴らしい! 家族でいっしょに何かをやってみよう。子ども時代、誰かと大切な何かを半分分ち合っただけで、迷惑がらず、恥ずかしく、与えて受けてという双方の関わりをもつと持とう。きつと心を満たすつながりが生まれてくるはずだ。そしてそれがいつまでも続く喜びや、誇りや、希望。つまり本當の幸福に変わっていくに違いない。

福岡YWCAでは長年、韓国と関わる活動をしてきた。光州YWCAとの姉妹提携は31年目となり、その間、アジア・太平洋戦争中の日本軍による朝鮮人強制連行や「慰安婦」の問題にも取り組んできた。2004年に姉妹提携を結んだ晋州YWCAとは、毎年日韓ユースボランティアキャンプを合同で行い、生き生きとした交流を続けている。参加する青年たちの心は実に澄みきっており、初めは相手国に対する先入観や言葉の壁を前に立ちすくんでしまうが、キャンプが終わる頃には気持ちも通じ合い、互いを受け入れ認め合おうとする真摯な態度が直に伝わってくる。たった一人でもいいから「友だち」になる。それが相手国との良い関係を築こうとする願いとなり、平和の礎となる。その一つひとつは小さな小石にすぎないが積み重なれば大きな橋となる。毎年、彼らの姿勢に触れ、そのような思いを新たにさせられている。

大切なものだから分ち合うこと、これを意識してやってみよう。まずは身近な人たちと時間をかけて、感謝をもって命を支える食べ物、を共に頂く。できればその食材の一つでもいいからその人といっしょに作ることでできたものと素晴らしい! 家族でいっしょに何かをやってみよう。子ども時代、誰かと大切な何かを半分分ち合っただけで、迷惑がらず、恥ずかしく、与えて受けてという双方の関わりをもつと持とう。きつと心を満たすつながりが生まれてくるはずだ。そしてそれがいつまでも続く喜びや、誇りや、希望。つまり本當の幸福に変わっていくに違いない。

韓国が書かされた文章には北朝鮮との統一を願う記述もある。確かに今後、東北アジアの平和を築く牽引力となるのは日・中・韓の関係である。しかし、各々の国にさまざまな思いや願いが内在していることを知り、北朝鮮や台湾までも念頭に置いた関わりを持たねばならないと思ふ。

戦後、近隣の国々への謝罪と償いを棚上げしたまま、最近では防衛庁を省へと格上げし、平和憲法改悪への道を進む日本の姿を、彼らほどのような心境で見守っているのかと考える時、思わず身が引き締まる。韓国の高校生が寄せてくれた「日本人は私たちが考えるようではなく、本當に優しくかつと皆に言うって理解してもらいます」という言葉を裏切らぬよう、私たちの活動を評価し応援して下さる隣国の方々一人ひとりの顔を思い起こしながら、力を合わせ、大きな平和の橋を築いてゆこう。

(福岡YWCA会報)



憲法改定への流れに抗する

日本YWCAの立場表明2007

3面掲載

「誰にとっても常になくってはならないものをこそ分ち合うこと、分ち合うことの大切さ、それにより分ち合えない者から、分ち合える者へと変えられる。これこそが神の業、奇跡である」とアジア学院創設者の高見敏弘は語る。つながりのなかで生きる

大切なものだから分ち合うこと、これを意識してやってみよう。まずは身近な人たちと時間をかけて、感謝をもって命を支える食べ物、を共に頂く。できればその食材の一つでもいいからその人といっしょに作ることでできたものと素晴らしい! 家族でいっしょに何かをやってみよう。子ども時代、誰かと大切な何かを半分分ち合っただけで、迷惑がらず、恥ずかしく、与えて受けてという双方の関わりをもつと持とう。きつと心を満たすつながりが生まれてくるはずだ。そしてそれがいつまでも続く喜びや、誇りや、希望。つまり本當の幸福に変わっていくに違いない。

戦後、近隣の国々への謝罪と償いを棚上げしたまま、最近では防衛庁を省へと格上げし、平和憲法改悪への道を進む日本の姿を、彼らほどのような心境で見守っているのかと考える時、思わず身が引き締まる。韓国の高校生が寄せてくれた「日本人は私たちが考えるようではなく、本當に優しくかつと皆に言うって理解してもらいます」という言葉を裏切らぬよう、私たちの活動を評価し応援して下さる隣国の方々一人ひとりの顔を思い起こしながら、力を合わせ、大きな平和の橋を築いてゆこう。

(福岡YWCA会報)

平和の橋を築く

長下美香

福岡YWCAでは長年、韓国と関わる活動をしてきた。光州YWCAとの姉妹提携は31年目となり、その間、アジア・太平洋戦争中の日本軍による朝鮮人強制連行や「慰安婦」の問題にも取り組んできた。2004年に姉妹提携を結んだ晋州YWCAとは、毎年日韓ユースボランティアキャンプを合同で行い、生き生きとした交流を続けている。参加する青年たちの心は実に澄みきっており、初めは相手国に対する先入観や言葉の壁を前に立ちすくんでしまうが、キャンプが終わる頃には気持ちも通じ合い、互いを受け入れ認め合おうとする真摯な態度が直に伝わってくる。たった一人でもいいから「友だち」になる。それが相手国との良い関係を築こうとする願いとなり、平和の礎となる。その一つひとつは小さな小石にすぎないが積み重なれば大きな橋となる。毎年、彼らの姿勢に触れ、そのような思いを新たにさせられている。



戦時における女性への暴力をテーマにした「女性国際戦犯法廷」の番組制作したテレビ局が、内容を改変したとして東京高裁で裁かれた▼これは、己の信条からそれ、国の圧力を器用にかわすことで組織の維持を図ろうとする弱さへの警鐘として胸に刺む問題でもある▼次号で▼期編集委員会の仕事は終わる▼皆様の協力とお支えに感謝しつつ。
(K)

特集 食と環境

京都議定書から10年 そして…

A 先日テレビで、冬のヨーロッパなのに気温が高くて海で泳いでいる映像を見て本当に驚いたわ。

B 大雨・竜巻・津波・そうかと思つて早急など、世界のあちこちで異常気象が起きているけれど、それってやっぱり地球温暖化と関係しているのかもしれない。

A 今年出された国連の「気候変動に関する政府間パネル」の報告書によると、人間活動の結果として排出される温室効果ガス(二酸化炭素、CO₂)他と地球の温暖化とは確実に連動しているそうよ。

C この100年間で、日本では平均気温が1.6度上昇、これは世界の平均よりずっと高いの。もしも2.5度上昇すると、世界中の食料需要に対して供給が追いつかない深刻な事態になるだろうという予測もあるの。

B 10年も前に世界の地球温暖化防止会議が京都で開かれて、その時の決議が「議定書」として作られたのに、あの動きはその後どうなったのよ？

A 1997年のことよね。1990年を基準として2008年から2012年の間に各国が削減率を定めて目標達成しよう

A 先日テレビで、冬のヨーロッパなのに気温が高くて海で泳いでいる映像を見て本当に驚いたわ。

B 大雨・竜巻・津波・そうかと思つて早急など、世界のあちこちで異常気象が起きているけれど、それってやっぱり地球温暖化と関係しているのかもしれない。

A 今年出された国連の「気候変動に関する政府間パネル」の報告書によると、人間活動の結果として排出される温室効果ガス(二酸化炭素、CO₂)他と地球の温暖化とは確実に連動しているそうよ。

C この100年間で、日本では平均気温が1.6度上昇、これは世界の平均よりずっと高いの。もしも2.5度上昇すると、世界中の食料需要に対して供給が追いつかない深刻な事態になるだろうという予測もあるの。

B 10年も前に世界の地球温暖化防止会議が京都で開かれて、その時の決議が「議定書」として作られたのに、あの動きはその後どうなったのよ？

A 1997年のことよね。1990年を基準として2008年から2012年の間に各国が削減率を定めて目標達成しよう

世界各地の産品をはじめ、豊富な食材が季節を問わず手に入り、私たちは世界でもまれに見る「豊かな」食生活を謳歌しています。一方で、日本は世界最大の食料輸入国で、原料自給率(カリーバー)は1990年の73%から2002年には40%にまで下がっており、私たちは地球の裏側で生産されたものを日常的に食べている状況です。このような私たちの食料事情は環境にも大きな負荷を与えています。今号では、環境を食の面から考えてみました。

と決議したのよ。日本は2004年にこの議決を承認したし、同じ頃ロシアも批准して2005年11月10日に「京都議定書」が発効となった。

C でも、世界最大の二酸化炭素排出国のアメリカは「イチヌケター」で締結しているのよ。中国やインド、ブラジルのように急速な経済発展をして排出量が急増している国も出てきているし…。

B 日本ではどうなっているの？

A 工場などには割り当て目標があって指数が出されているので、少しずつ削減はしているけれど、運輸とか民生部門ではむしろ増加しているんですよ。特に自家用車がすごい勢いで増えているの。だから、当初の日本の目標は削減率6%だったのが、現在はそれを定めた時から8%も増えているのよ、2012年までの削減目標は14%というほとんど非現実的な数字になっているのよ！

B ウーイ！ いったいどうしたら良いの…？

C 国の経済効率優先の方針を変えていかなくてはならないのがひとつ。それと、私たち一人ひとりがライフスタイルを変えていく必要があるわね。「京都議定書」による目標では、一人150gのCO₂削減なのに、でもね、私たち暮らしのなかで何がCO₂を出すのか意識していないと思わない？

B まずは石油を燃やして走る自動車でしょう。それに、電力もほとんどが石油が原料よね。つまり冷暖房・給湯・その他あらゆる電化製品でしょう。

A ビニール製品などもすべて石油が原料でしょう。だからスーパーのレジ袋1袋がCO₂でいうと90gになるんですよ！それからゴミ焼却の燃料も石油も考えると簡単に物を捨てるのも考えなくてはね。

C 私たちが食べているものも関係しているのよ。

B エエッ！ どうして食べ物まで？

A 日本人の食べているものの60%は外国から輸入したもので、その運搬にはすべて石油が使われている訳でしょう？パンの原料の小麦粉なんて99%が外国産よ。

B あ、そうか！ 食物について「地産地消」って言われているのは、ただ地元で採れたもの

は美味しい栄養価も高いというだけの理由ではないのネ!! それなら、地元といってもハウス栽培とか農業をたくさん使っているのだから、CO₂排出と関係も考えなくてね。

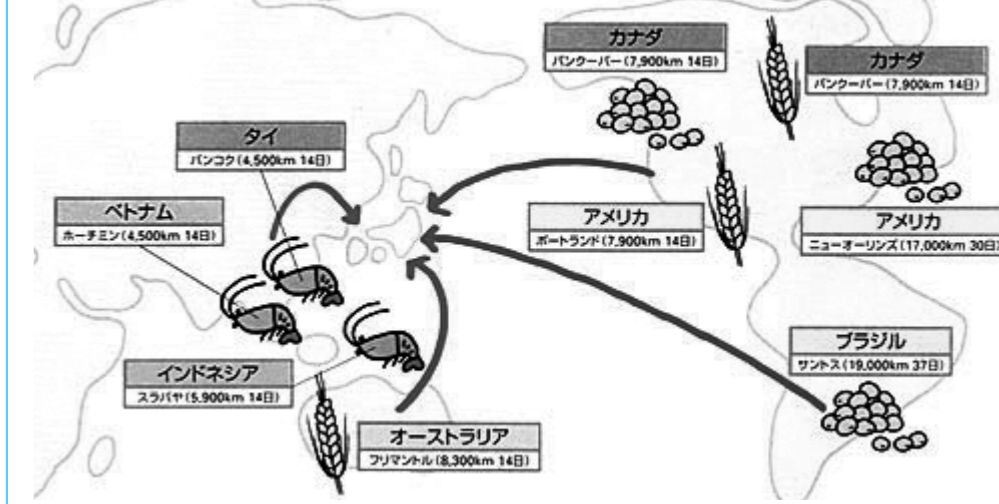
A 「フードマイレージ」という言葉がこの問題と関係しているのだからね。

B それってナニ？

(文責・編集委員会)

天ぷらうどんの生まれ故郷は

大豆や小麦などほとんどが外国生まれ
下の図は、天ぷらうどんの材料が輸入先国から日本に運ばれてくるまでの距離と日数をあらわしています。



※カッコ内は相手国の主な港から東京湾までの片道航路の距離・日数
出典：(財)食生活情報サービスセンターホームページ http://www.e-shokuiku.com/jyukyuu/13_3.html

フードマイレージって?

食料の環境負荷、日本はワースト1

輸入農作物が環境に与える負荷を数値化するために考えられたのが「フードマイレージ」です。イギリスの消費者運動家ティム・ラングさんが1994年に提唱した「フードマイルズ」市民運動(なるべく地域内で生産された食料を消費することなどを通じて環境への負荷を減らそうという趣旨)に由来する考え方で、輸入農作物の量に輸送距離をかけて算出されます。食料の生産地から食卓までの距離が長いほど、輸送にかかる燃料や二酸化炭素の排出量が多くなるため、フードマイレージの高い国ほど、食料の消費が環境に対して大きな負荷を与えていることになります。

日本はアメリカの8倍!

フードマイレージで日本の1年間の輸入食糧を計算すると2000年には一人当たり4000 t kmで、これはアメリカの一人当たり500 t kmのほぼ8倍に達します。日本は世界で最も環境負荷をかけた食事をしている国といえます。(編集委員会)

参考資料：中田哲也「フードマイレージ」の試算について」農林水産政策研究所レビューNo.2 (2001年12月)、「食料の総輸入量・距離(フードマイレージ)とその環境に及ぼす付加に関する考察」同No.11 (2004年3月)

フードマイレージ = 輸入農作物の量 (t) × 輸送距離 (km)

本の紹介

都心の「デバ地下」は今やお客の争奪戦の目玉となっている。昼時、夕方のにぎやかなことは驚くばかりだ。働く女性が増えることや電子レンジの普及も関係しているだろう。私自身、最近はずっと手作りから出来合いのものを食していると実感している。おせち料理も以前は作っていたが、今は1〜2品作るだけで多くを専門店に予約して年末にそれを受け取りに行くようになったと思う。そんな時、この本を手に入れた。

「外食・調理済食品は食生活の43・6%を占める」「日本の農産物の純輸入額はダントツの世界第1位」「小学生の60%が

「フードクライシス 食が危ない!」

著：金丸弘美
出版社：ディスカヴァー・トゥエンティワン
税込価格/1,260円

アレルギー性質をもっているから始まって、食が危ない!を指摘してくれる。ほとんどの食料を輸入に頼っている先進国は日本だけであること。農業従事者の58%は65歳以上と高齢化し、農産物生産の将来は危い。海外からの輸入が止まったら、食べ物も簡単に手に入らなくなる。

本書の内容は「食料自給率」「食の安全」「日本の農業」「日本人の食生活」「食と健康」の5項目48の事実(項目)に分け、輸入で分りやすく簡潔に説明。何よりも挿入してある絵と文章が楽しい。

(編集委員 望月和子)

雑穀を食べてみませんか



「アワ・ヒエ・キビの絵本」農文協発行 古澤典夫著 及川一也編 沢田としき絵

雑穀を知ってから、そろそろ10年になろうとしています。この10年の間に「鳥のエサ」という認識から身体にヘルシーな食材へと、世間のイメージも変わりました。五穀米としてごはんに炊き込んでいるご家庭も多いと思います。

雑穀には食べておいしい、健康になるという側面以外に、日本人が古代から(米が常食されるずっと以前から)食べつづけてきた歴史があります。青森県の三内丸山遺跡の発掘で、縄文中期(4500年前)の縄文人がヒエの祖先種であるイヌビエを大量に栽培していたことが推測されています。ヒエは8世紀には現在と同じ大きさに進化し改良され、その後ずっと日本人の主食として食べ継がれてきました。多くの人が知らない事実ですが、昭和30年代になっても、多くの山間地でヒエが主食の座を保っていました。

いま日本では雑穀の栽培面積が増えています。それは、この地に合った育てやすい作物であるからです。私もこの何年か、幼稚園や小学校など小さな畑で雑穀を育ててきました。1坪程度の日当たりのいい土地があれば育てるのは簡単です。ネコじゃらしのような野生の草に似ているので、何を育てているんだらうと注目され、そこから会話が弾んだこともあります。雑穀を作って、脱穀して、精白し、みんなで食べるということもやってみました。いろいろなイベントや子ども向けの集まりの中で、みんなで(ヒエのシチュー)や(アワのカレー)を食べてきました。お店屋さんとして雑穀のものを出すとあつという間に完売です。鳥・豚・牛・豆・麦のようなあらゆるアレルギー因子が入っていないので、どんなひどいアレルギーの子も安全においしく食べられ、喜ばれました。

ごはんに炊き込む以外に、実はいろいろな料理方法があって試してみると、いままでの枠をこえたレシピやおいしさに出会えると思います。

(編集委員 中村三和子)

ひえのシチュー

材料(5人分)

玉ねぎ	小2ヶ
じゃがいも	大1ヶ
にんじん	中1本
かぼちゃ	1/4ヶ
トマト	1ヶ
にんにく	1ヶ
油	大2
ひえ	1/3カップ
塩	小2

(※カレー粉 大3)

- 玉ねぎはみじん切りにして、にんにくもみじん切りにします。鍋に油を入れてにんにく、玉ねぎを炒めます。
- 野菜をまじ切りにし、(1)に加え、さらに炒めます。洗っておいたひえを加え、6カップの水を入れ煮込みます。(20分ほど)かぼちゃは少しあとに入れます。
- 野菜がやわらかくになったら塩を入れ、さらに煮込み、ひえがやわらかく、野菜のうまみとろみが出てきたら火を止めます。

※ ひえをあらわに変え、(1)と(2)のあいだにカレー粉大さじ3を入れれば、あらわカレーになります。

絵・字 中村二三男

種

イエスは大声を出して息を引き取られた。すると、神殿の垂れ幕が上から下まで真っ二つに裂けた。百人隊長がイエスの方を見てそばに立っていた。そして、イエスがこうのように息を引き取られたのを見て、「本当に、この人は神の子だった」と言った。

(マルコによる福音書15章37〜39節)

日本におけるキリスト教保育の始まりは1870年代にさかのぼります。アメリカから女性宣教師たちが来日され、当時「最も小さくされていた女性や子どもたちの許に赴き、全生活をかけて彼らに仕える働きをされました。今、私たちはその働きを受け継ぎ、幼な児を丸ごと受け入れ、信頼関係を結び、真に自立した人となるように、個々人の歩みの中でいつの日にか御言葉が実を結ぶ時のあるようにと願いつつ共に歩んでいます。

ある日、3年保育の2年目を迎えたYちゃんのお母様が「先生、Yがね、おじいちゃんのお葬式の日、お骨を拾う段になった時、やおち輪の中央に立ち、「花も鳥も目がさめて神様ありがと」と言っています。私も一緒に言いますよ。神様、神様ありがと」と歌い切ったのですよ。と目に涙をためながら、しかしうれしそうに話されたのです。Yちゃん5歳の信仰告白の時でしたよ。私の胸は明るく広がる思いがしました。

今やレント(愛媛県)の時。イエス様の十字架架刑に直面したローマの百人隊長の「本当にこの人は神の子だった」との心ゆきぶられる信仰告白を思い出しています。私たちと共に歩む子どもたち一人ひとりに、その時が与えられるようにと、祈るものです。

田口美穂(東京YWCA会員 鶴川シオン幼稚園園長)

憲法改定への流れに抗する 日本YWCAの立場表明(2007年)

常任委員会は、教育基本法改定・防衛省の成立など、改憲への外堀を次々と埋める最近の政治の流れに対する私たちの立場を話し合い、会長の責任で立場表明を以下のようにまとめました。皆様がこれを参考にして、行動してください。

●新教育基本法に抗して

- ①新法の教育観は、平和を重んじ個人の尊厳を謳った現憲法の精神を踏みにじるものです。「平和」を削除して憲法改定への布石を打ち、新たに「公共の精神」を尊ぶことを加えて国家に従順な国民の育成、ひいては戦争を可能とする教育をもちこんでいます。しかも「普遍的で個性的な文化の創造」から「伝統を継承し新しい文化の創造」に変えたことは、従来の世界の人々に開かれた文化形成を内向きの国粹主義的文化へと後戻りさせる政府の意図の表れでしょう。
- ②新法の教育目標は、「国を愛する態度」など学習指導要領に盛り込まれた20近い徳目です。道徳的規範を法律で国民に強制することは、「思想・良心の自由」などの人権の侵害であり、近代国家として許されません。
- ③「公共の精神」の意味する内容は何でしょうか？ 自民党の「憲法改正のポイント」は、一番身近な「小さな公共」は家族で、皆で支える「大きな公共」は国家だと述べています。公共＝国家という考え方が当然とされています。この「公共の精神」の涵養は国家に隷属する精神の強要に変わりかねません。
- ④新法では旧法の「教育は、不当な支配に服することなく、国民全体に対して直接責任を負って行われるべきもの」の後半を削除し、「この法律及び他の法律の定めるところにより行われるべきもの」としています。国家が法律によって教育をますます統制することになるでしょう。
- ⑤新法は旧法の「男女共学」を削除し、逆に「家庭教育」「幼児期の教育」を新設し、地方自治体が支援すべきだと謳い、国家権力による干渉の道を開いています。

1月24日には、内閣の教育再生会議が第一次報告を出し、早速国家による教育統制の強化が具体的に始まるようとしています。こうした動きに反対する際、日本も国連の「子どもの権利条約」を批准している事実を想起しましょう。子どもの生きる権利・育つ権利を認めた上で、「子どもの最善の利益」を図るこの条約は、日本国憲法と旧教育基本法の精神をさらに発展させたものです。これを手がかりの一つとして、私たちは、次の基本法改正に向けて、前向きに活動を展開していきたいものです。

●憲法改定の流れに抗して

安倍内閣は、次にいよいよ憲法第9条の改定と、議会の多数党の力で容易に憲法改定を実現する法律の制定を急ぐでしょう。私たちは「国民投票法案」の問題点を再度確認し、反対を呼びかけ、4月の地方選挙・7月の参議院選挙に向けて、本当の争点を明確にして仲間を増やしていきたいでしょう。 日本YWCA会長 石井摩耶子